

Press Release

International Olympic Committee announces plans to move Olympic marathon and race walking to Sapporo

Cooler conditions for these endurance events are part of comprehensive measures to protect athletes, officials and spectators during the Olympic Games Tokyo 2020.

The International Olympic Committee (IOC) today announced that it is planning to move the Olympic marathon and race walking events to Sapporo, the host city of the Olympic Winter Games 1972. The move to Hokkaido, the northernmost prefecture of Japan, will mean significantly lower temperatures for the athletes during the Olympic Games. In Sapporo, temperatures during the Games period are as much as five to six degrees centigrade cooler during the day than in Tokyo, which is more than 800 kilometres further south.

The plans are part of a wide range of measures already being taken by Tokyo 2020 in consultation with the IOC and the International Federations to mitigate the effects of the temperatures which may occur next summer. The IOC has informed World Athletics about the proposed changes.

This latest initiative by the IOC and Tokyo 2020 comes on top of other heat countermeasures which are already planned and being implemented on the recommendations of the IOC Medical and Scientific Commission Adverse Weather Impact Expert Working Group (the IOC Working Group). They are:

- Athletics: 5,000m and longer distance races scheduled in the evening athletics sessions and not in the morning sessions, and moving the marathon and race walk events to earlier starting times.
- Rugby: all morning games scheduled to finish before 12 p.m.
- Cycling: mountain bike start time delayed to 3 p.m.

The IOC Working Group identified the marathon and race walk as the events that would put particular heat stress on the athletes.

Regarding other events and competitions, the IOC Working Group concluded previously that the timing of those events should be kept under review and may not need to be changed at this moment, assuming that the prevention, mitigation and treatment measures it recommended for each event and each group (athletes, workforce, officials and spectators) are implemented.

Many of these measures have been trialled in test events this summer. These include better shade, water sprays, better access to water supplies and an initiative to help the athletes in their preparations via detailed information on Athlete365.

The implementation of the initiative to move the marathon and the race walks will be discussed with all the stakeholders concerned, in particular the host city Tokyo, along with World Athletics, the National Olympic Committees (NOCs), Olympic Broadcasting Services (OBS) and the Rights-Holding Broadcasters (RHBs). The IOC Coordination Commission for Tokyo 2020, chaired by IOC Member John Coates, has dedicated a special session in its meeting from 30 October to 1 November in Tokyo to heat countermeasures.

During its meeting, the Coordination Commission will also have the opportunity to discuss the survey by Tokyo 2020 of the International Federations and their advice regarding heat countermeasures. As part of its athlete-centred approach, the Organising Committee has reached out to each International Federation with a heat countermeasure questionnaire on top of the many measures already taken.

Heat was already taken into consideration when Tokyo presented its candidature in 2013, and since then the IOC and the Organising Committee have continued to monitor the situation. The measures proposed today, and those already adopted, take the changing landscape into account as the IOC continues to put athlete health and performance at the heart of its decision-making.

IOC President Thomas Bach said: "Athletes' health and well-being are always at the heart of our concerns. A range of measures to protect the athletes have already been announced. The new far-reaching proposals to move the marathon and race walking events show how seriously we take such concerns. The Olympic Games are the platform where athletes can give 'once-in-a-lifetime' performances, and these measures ensure

they have the conditions to give their best. I would like to thank World Athletics, and we look forward to working with them on the implementation."

World Athletics President Sebastian Coe said: "We have been working closely with the IOC and Tokyo 2020 on the potential weather conditions at next year's Olympic Games and will continue to work with the IOC and Tokyo 2020 on the proposal to move the road events to Sapporo. Giving athletes the best platform for their performances within the environment they are in is central to all major events, and we will work with the organisers to create the very best marathon and race walk courses for next year's Olympic Games."

(参考和訳)

IOC がマラソンと競歩を札幌へ移転する計画を発表

より涼しい環境での耐久競技は、東京 2020 オリンピック競技大会中の選手、関係者、観客を守るための包括的な対策の一つである

IOC は、本日、1972 年冬季オリンピックの開催都市である札幌にオリンピックマラソンと競歩競技を移転する計画を発表しました。日本の最北部の都道府県である北海道への変更は、オリンピック期間中の選手にとって、気温を大幅に低下させるものであります。札幌では、800 キロ以上南に位置する東京より、大会期間中の日中の気温は 5～6 度ほど低くなります。

この計画は、来年の夏に起こりうる気温による影響を緩和するために IOC や国際競技連盟と協議して、東京 2020 組織委員会がすでに取り組んでいる幅広い暑さ対策の一部です。IOC は、本変更案について既に国際陸上競技連盟に通知しています。

IOC と東京 2020 によるこの最新の取り組みは、IOC 医事科学委員会 悪天候の影響に関する専門ワーキンググループ (IOC ワーキンググループ) の勧告に基づいて既に計画され、実施されている他の暑さ対策に追加されるものであります。

具体的には、

- 陸上競技: 5,000m と長距離走は、午前中ではなく、夕方に開催。マラソンや競歩は開始時間を前倒し
- ラグビー: 午前中の試合はすべて正午前に終了
- サイクリング: マウンテンバイクの開始時間を午後 3 時に後ろ倒し

IOC ワーキンググループは、マラソンと競歩は選手に特に熱さのストレスをかける種目として認識していました。

その他の種目や競技に関しては、IOC ワーキンググループは、それぞれの種目、選手、スタッフ、職員、観客に推奨する予防、軽減、治療措置を講じているので、時間帯は検討し続けるべきではあるが、現時点では変更する必要はないようだと言っています。

これらの対策の多くは、この夏のテストイベントで試行されています。

より多くの日陰の設置、ミスト、飲料水へのより良いアクセスや選手の準備を手助けするものとしてウェブサイト「アスリート 365」で詳細な情報を提供する構想といったものが含まれます。

マラソンと競歩の会場変更構想の実施については、関係するすべてのステークホルダー、特に開催都市の東京、国際陸上競技連盟、NOCs、オリンピック放送機構(OBS)、ライツホルダー(放送権者: RHB)と議論する予定である。10月30日から11月1日に、東京で開催されるIOCのジョン・コーツ委員が委員長を務める調整委員会でも、暑さ対策についての特別セッションが設けられます。

調整委員会では、東京2020組織委員会が行った各国際競技連盟への調査や、暑さ対策に関するIFからの助言についても議論が行われます。アスリート中心のアプローチの一環として、組織委員会は、すでに実施されている多くの対策に追加して、各IFに暑さ対策に関するアンケートを送っています。

2013年に東京が立候補を発表した際には、すでに暑さは考慮されており、その時からIOCと組織委員会は状況をチェックし続けています。本日提案する対策、及びすでに採用されているものは、IOCがアスリートの健康とパフォーマンスを意思決定の中心に置き続ける中で、状況の変化に応じるものです。

IOCのトーマス・バッハ会長は「アスリートの健康と幸福は常に我々の関心事の中心にある。選手を守るための様々な対策が既に発表されています。マラソンと競歩競技の移転といった今回の新しい遠大な提案は、我々がこういった懸念をいかに真剣に受け止めているかを示すものであります。オリンピックは、アスリートが“一生に一度”のパフォーマンスを行うことができるプラットフォームであり、これらの措置は、彼らが最善を尽くせるコンディションを確保するためのものです。世界陸上競技に感謝し、実施に向けて彼らと協力することを楽しみにしています。」と述べた。

国際陸上競技連盟のセバスチャン・コー会長は「来年のオリンピック大会時の気象状態について、我々はIOCおよび東京2020組織委員会と緊密に協力してきており、今後も引き続き、屋外のレースイベントを札幌に移転する提案について、IOCおよび組織委員会と協力していきます。アスリートが最善のパフォーマンスをするため、与えられた環境において最適なプラットフォームを提供することはすべての主要な種目の中核であり、我々は主催者と協力して来年のオリンピック大会で最適なマラソンおよび競歩会場を準備します。」



MEDIA ADVISORY

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

<Tokyo 2020.NEWS-2019-342>

2019 年 10 月 30 日

四者協議の開催について【取材案内】

下記のとおり、IOC、東京 2020 組織委員会、東京都、政府の代表による四者協議を開催いたしますので、お知らせします。また、東京都の提案により、この四者協議に先立って実務者間のテクニカルワーキンググループミーティング（非公開）を実施することが合意されましたので、お知らせします。

取材をご希望の方は、**10 月 31 日（木）17:00 まで**に申し込みフォームからお申し込みください。
申し込みフォーム：

<https://tokyo2020-extranet.secure.force.com/media/?ih=H6hLQxYL1R5>

【概要】

- 日 時：2019 年 11 月 1 日（金）12:00～13:00（予定）※フルオープン
- 場 所：東京 2020 組織委員会晴海トリトンスクエアオフィス Y 棟 2 階会議室
（住所：東京都中央区晴海一丁目 8 番 11 号晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワー）
- 出席者：ジョン・コーツ 第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）調整委員会委員長
（予定） 森 喜朗 東京 2020 組織委員会会長
小池 百合子 東京都知事
橋本 聖子 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣
※同時通訳が入ります。
- 受付時間：11:00～11:50
※会議開始後の途中入室はできませんのでお早めに受付を済まし、会場へ入室ください。
- 受付場所：晴海トリトンスクエアオフィス Y 棟 2 階 EV ホール奥
東京 2020 組織委員会総合受付付近
※受付時間内に限りメディア専用受付を設置していますので時間内にお越し下さい。

The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Olympic Gold Partners



TOKYO 2020

- ✓ ムービー、スチールは下記の代表撮影とさせていただきます。

ムービー：東京 2020 組織委員会映像幹事（調整中）

スチール：調整中

- ✓ 会議室への入室は、ペンは 1 社 3 名までとさせていただきます。記者席は用意いたしますが、席に限りがございます。あらかじめご了承ください。

【留意点】

＜取材について＞

- ✓ ご取材の際は自社腕章を必ず着用し、係員の指示に従ってください。

＜晴海トリトンスクエアオフィス階へのアクセスについて＞

- ✓ ビル内（2 階グランドロビー含む）は、台車等を用いての荷物の運搬はできません。手で担げるカメラ等であれば通行可能です。
- ✓ ビル内（2 階グランドロビー含む）では、待機できないため、受付開始時刻を目途に受付場所にお集まりください。
- ✓ メディア受付にて取材会場へ入室するためのメディア用 AD を配布します。（事前に取材申し込みのない方は、取材をお断りさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。）
- ✓ 駐車場（有料）については、晴海トリトンのアクセスガイド（<http://harumi-triton.jp/access>）をご参照ください。

【公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会について】

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）と東京都により 2014 年 1 月 24 日に一般財団法人として設立され、2015 年 1 月 1 日付で公益財団法人になりました。第 32 回オリンピック競技大会は、2020 年 7 月 24 日（金）～8 月 9 日（日）の日程で、東京 2020 パラリンピック競技大会は、2020 年 8 月 25 日（火）～9 月 6 日（日）の日程で開催されます。東京 2020 大会に向けて組織委員会は、JOC、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会（JPC）、東京都、政府、経済界、その他関係団体と共にオールジャパン体制の中心となり、大会の準備および運営に関する事業を行います。

Web: tokyo2020.org | Facebook: facebook.com/tokyo2020 | Twitter: twitter.com/Tokyo2020jp

Instagram: <https://www.instagram.com/tokyo2020/> | LINE: <https://line.me/R/ti/p/%40tokyo2020>

東京 2020 の大会ビジョン

スポーツには、世界を変える力がある。2020 年は、史上最もイノベティブで、世界中にポジティブな変革をもたらす大会とする。

1) 全員が自己ベスト 2) 多様性と調和 3) 未来への継承

<https://tokyo2020.org/>